

福井工業高等専門学校		開講年度	平成31年度 (2019年度)		授業科目	英語 V
科目基礎情報						
科目番号	0153		科目区分	一般 / 必修		
授業形態	講義		単位の種別と単位数	学修単位: 2		
開設学科	物質工学科		対象学年	5		
開設期	通年		週時間数	前期:2 後期:2		
教科書/教材	Ultimate Solution to the TOEIC Test, Cambridge English for Scientists					
担当教員	ウィリアム・エドワード・ウィルキ,原口 治					
到達目標						
(1)日常的な内容の対話や説明の英語を聞いて理解できること。 (2)比較的易しい英文による説明文などを読んで理解できること。 (3)基本的な語彙力と文法を習得し、比較的易しい英文を用いた対話や作文ができること。						
ルーブリック						
		理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安		
評価項目1						
評価項目2						
評価項目3						
学科の到達目標項目との関係						
学習・教育到達度目標 RC1 JABEE JC1						
教育方法等						
概要	1～4年で学習したことを基に、各技能をバランスよく学習しつつ総合的な英語力の養成を図る。					
授業の進め方・方法	Improve listening and reading comprehension, help increase TOEIC score potential Introduction to TOEIC and career-related English. The focus will be on developing students listening ability and reading comprehension, with particular emphasis on vocabulary used in the workplace of their particular course at NIT Fukui.					
注意点						
授業計画						
		週	授業内容	週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	Outline of year			
		2週	UT 1/CES 1			
		3週	UT 1/CES 1			
		4週	UT 2/CES 1			
		5週	UT 2/CES 2			
		6週	UT 3/CES 2			
		7週	UT 3/CES 2			
		8週	前期中間試験 Midterm test			
	2ndQ	9週	試験返却 Midterm review			
		10週	UT 4/CES 3			
		11週	UT 4/CES 3			
		12週	UT 5/CES 4			
		13週	UT 5/CES 4			
		14週	UT 6/CES 5			
		15週	UT 6/CES 5			
		16週	前期期末試験返却			
後期	3rdQ	1週	UT 7/CES 6			
		2週	UT 7/CES 6			
		3週	UT 8/CES 6			
		4週	UT 8/CES 7			
		5週	UT 9/CES 7			
		6週	UT 9/CES 7			
		7週	CATCH-UP			
		8週	後期中間試験 Midterm test			
	4thQ	9週	試験返却 Midterm review			
		10週	UT 10/CES 8			
		11週	UT 10/CES 8			
		12週	UT 11/CES 9			
		13週	UT 11/CES 9			
		14週	UT 12/CES 10			
		15週	UT 12/CES 10			
		16週	後期期末試験返却			
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標						
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標		到達レベル	授業週

基礎的能力	人文・社会科学	英語	英語運用能力の基礎固め	日常生活や身近な話題に関して、毎分100語程度の速度ではっきりとした発音で話された内容から必要な情報を聞きとることができる。	3		
				日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を基本的な表現を用いて英語で話すことができる。	3		
				説明や物語などの文章を毎分100語程度の速度で聞き手に伝わるように音読ができる。	3		
				平易な英語で書かれた文章を読み、その概要を把握し必要な情報を読み取ることができる。	3		
				日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を整理し、100語程度のまとまりのある文章を英語で書くことができる。	3		
				母国以外の言語や文化を理解しようとする姿勢をもち、実際の場面で積極的にコミュニケーションを図ることができる。	3		
評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	65	5	0	0	0	35	105
基礎的能力	65	5	0	0	0	35	105
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0